



第53期第三四半期終了、そして第四四半期へ

先月初めは猛暑日が続き暑い夏と感じておりましたが、お盆期間中は長い雨の日が続き、蒸し暑さは感じましたが、比較的過ごしやすい気温となりました。ただ後半は再び暑い夏がやってきて、気温差の激しい空模様の月でした。9月も引き続き暑い日が続くと思いますが、こまめな水分補給やエアコンの活用で熱中症や夏バテにならないよう、心掛けをよろしくお願いします。

今期も第三四半期が終了し、第四四半期となる残り9月、10月、11月の3ヶ月となりました。第三四半期は、計画では医療器の再開を見込んでおりましたが、今期はじめに再延期となり、当初見込んでいた医療器の生産は先送りとなってしまいました。ただ部門長や社員の方々が協力して、今ある仕事を確実にこなして頂いたことで、売上の方は計画より低い状況となりましたが、収支の方は何とか確保することが出来ました。今期の残り3ヶ月も、引き続き今ある仕事を確実にこなして頂くこととなりますが、品質も良い形となるよう、ご協力のほどよろしくお願いします。

新型コロナの感染拡大や、ここにきて材料調達でも納期が遅れる可能性が出てくるなど、不安な部分はありますが、各部門が連携して問題解決を行い、仕事を支障なく行う事で、良い結果に結びつけていくよう、各部門長と社員の方々には引き続きご協力をお願いできればと思います。

新型コロナの予防や日々の健康管理を徹底していただき、1ヶ月間どうぞよろしくお願いします。

社長 太田 聡
編集担当：島

ポカミスについて（認知のミスが起こりやすい理由）

先月までで、各工程（情報・認知・判断・決定・行動）でのポカミスの詳細説明が終了しました。今月からは各工程でのミスが起こりやすい理由を説明していきたいと思います。初回は「認知のミスが起こりやすい理由」となります。

人は五感で認知する ⇒ 原因：五感の限界！

人は、感覚器である目（視覚）、耳（聴覚）、手や肌（触覚）などを使い、外部の対象や現象を把握している。**視覚と聴覚で把握する割合は8割を超える**。感覚機能にも限界があり、その限界を超えるような課題を課せられると、人は見難い、聞き難い、錯覚することによるポカミスを犯しやすくなる。

対策：見やすく、聞きやすく

人がポカミスをしやすくなる作業条件（見難い、聞き難い）を排除すること、または必要なときに感覚機能を活性化させるような工夫（光の点滅や音の断続）が必要である。

視覚の限界	対象の大小 速さ・遅さ 明暗（コントラスト） 錯視（実際と違って見える） 思い込み	・計器の小さな文字 ・頻繁に変わる文字を読む ・暗い所で計器を読む ・似た色/形の部品を区別する
聴覚の限界	音の大小 音の高低 明瞭さ 発音源の方向	・騒音の中で伝言を聞く ・小さな音での監視 ・後方からの信号音を聞く

※※産業医の先生の言葉※※

陽性者になって本当に
治っているのか不安です

会社の人も心配じゃないかしら

だから自費でPCR検査を受けよ
うか迷っています

わかりました、
ありがとうございます

保健所の指示に従いましょう

コロナウイルスは、発症してから2週間経つ
と感染力がなくなるのよ、だからちゃんと
待機期間をとってあれば大丈夫、人に感染
させることはないわ

2週間の待機期間をとっても菌は体に残っている
ことがあってPCR検査をすると陽性になる場合があ
るの。

2週間の待機期間をちゃんと守って、体調に変化がなければ通
常の生活をして大丈夫、安心していいですよ

コロナ感染の疑い!?

～衛生委員会より～

静岡県は8月20日～9月12日までの緊急事態宣言が発令されました。身近でも感染者や濃厚接触者が出始め、より一層、普段の生活においての感染対策が必要になります。この状況下で自分がコロナウイルスの初期症状(発熱、頭痛、倦怠感など)が発症した場合どうすればよいのか紹介します。

- 1.行動履歴を出来るだけ書き出す、体温の変化(日々の検温が必要)を伝えられるよう予め準備しておく。
- 2.かかりつけ医、受診したい病院に電話で相談する。
- 3.病院から「どの医療機関を受診すればよいか」、「どのタイミングで受診すればよいか」といった指示を受ける。
- 4.病院へ行く(※)

※どんなに近くても車で行くこと!発熱などコロナ感染の疑いがある場合は病院の中には入れず、外で問診などの処置を受けるため、夏場では熱中症などの恐れがあるため

編集担当:横井

引退から最期 ～本田 宗一郎～

6月号から紹介しました本田宗一郎ですが、今月号で最後になります。今回は引退から最期までをご紹介します。

名実ともにホンダが「世界のホンダ」へ成長し、更なる飛躍を模索しているなか、若い従業員から「自分たちは会社のためでなく、社会のためのやっているのだ」と言われたそうです。【社会のために技術がある】が信条だった本田宗一郎は「いつの間にか私の発想は企業本位になってしまった」ことに気が付いたと同時に若い従業員が自分の意思を継ぎ、成長していることに気が付きます。昭和48年、副社長の藤沢武夫(61歳)※が辞任の意を告げると、それを受けた本田宗一郎(65歳)は社長退任を決断します。創業25周年を前にしての2人の引き際は【爽やかなバトンタッチ】、【最高の引き際】と評されました。

※藤沢武夫・・・本田宗一郎と二人三脚でホンダを世界的な大企業に育てた偉人。関係性として本田は技術者、藤沢は経理を担当し、会社経営の全権を委ねたことにより本田は技術者に徹することが出来た。本田宗一郎を語る上で重要人物です。是非皆さんも調べてみて下さい。

引退後は6月号にも記述した全国へ御礼行脚の旅に出ます。作業員の油まみれの手を自ら握り、「いいんだよ、この油まみれの手がいいんだ!」と言い自分の手に付いた油の臭いを嬉しそうに嗅いだそうです。

1991年8月84歳で生涯を終えました。自動車会社の創業者である自分が葬式を出して、大渋滞を起こしてしまっは世間に申し訳ないという遺言を残しました。その遺言にしたがって、社葬は行われず、親族のみで葬儀が行われ、社をあげての葬儀は行われなかった。しかし本田宗一郎さんを偲ぶ人たちが本社や、各地の製作所などに集まり「お礼の会」を開催、述べ6万2,000人が本田宗一郎さんを偲びました。

6月号から本田宗一郎について編集してまいりましたが、調べれば調べるほど本当に多くの功績、軌跡があります。名言・格言集なども多くありますので書籍やネットなどで検索してみてください。また、出身地である浜松市天竜区には「本田宗一郎ものづくり伝承館」があり、軌跡を辿れます。入場無料なので皆さんも足を運んでみて下さい。

「本田宗一郎ものづくり伝承館」所在地 〒431-3314 静岡県浜松市天竜区二俣町二俣1112

HPアドレス <http://www.honda-densyokan.com>

編集担当:横井

編集担当より

東京2020パラリンピックが、8/24～9/5で行われています。障がいのあるトップアスリートが出場できるスポーツの祭典として知られていますが、選手の障がいやその程度に応じて、ルールや用具に工夫をしたり、クラスを分けたりして行う競技が多くあります。

パラスポーツならではの見どころを知ったうえで観戦すれば、より競技の面白さや奥深さを感じることができるはずです。

率直なご意見・ご感想をお待ちしております。
general@apollo-elec.co.jp

発行  アポロ電気株式会社

〒438-0004

静岡県磐田市匂坂中1600-11 磐田さぎさか工業団地

TEL:0538-38-2228 FAX:0538-38-2898

URL:<http://www.apollo-elec.co.jp>

編集担当:管理室

発行日 令和3年9月1日